

あとがき

〈編集顧問〉

太田 保世
諏訪 邦夫
堀江 孝至
村山 正博

〈編集委員〉

相澤 久道
石坂 彰敏
和泉 徹
小川 聡
永井 良三
三嶋 理晃

〈編集協力委員〉

赤石 誠
赤柴 恒人
北風 政史
近藤 哲理
中沢 潔
(五十音順)

北半球の先進国では、今や人間としての営みを全て温室の中で済ませていると言っても過言ではないであろう。20世紀後半、日本が作り上げた長寿社会がその典型である。長寿社会は地球に生息するであろう400万種の生物の中で人類だけが享受できている長命社会である。特異的な現象を指摘すれば、繁殖活動に費やした年齢と同じ年限を生き抜く社会である。DNAがほんの1%しか変わらない、人類進化の隣人、チンパンジーと比較すれば直ぐに理解される。彼らにはおじいちゃん・おばあちゃん保育はないのである。その前に生を全うするからである。

それでも日本が何とかして長寿社会に到達した1980年頃、長寿と長命は同一視できる土壌があった。その時、長寿は愛でられ、称えられ、そして敬われた。しかし、スーパーマンやスーパーウーマンが長寿を担った一時期が過ぎ、3万人ものレベルで百寿者を抱える今日、長寿社会の影の部分が無視できなくなってきた。それは介護の問題であり、疾病負担の問題である。ついに、疾病負担は患者負担、家族負担、社会負担、医療負担の枠を超え、次世代負担に広がっている。もはや、尊厳ある終末期医療は先進医療である。長命になればなるほど尊厳ある終末は望まれるであろう。またそれを依頼する代諾者も多くなるであろう。これは必ずしも疾病負担や医療負担、次世代負担とは直結しない。400万種の生物が、進化の隣人であるチンパンジーが営んでいる極めて自然な営みの問題であり、人類の知恵の問題である。

日本救急医学会が“救急医療における終末期医療のあり方”について提言してから1年が経過した。この間の集積を踏まえ、三宅・有賀先生が“心臓救急と終末期医療”を「Bedside Teaching」欄に寄稿された。実に示唆に富む内容である。リビングウィルに従った尊厳ある終末期医療とは何か、先進医療以上の情熱をもって取り組むべき課題である。これはバーチャルではない。まさに自分の問題である。

(和泉 徹)

呼吸と循環 (第57巻 第3号)

2009年3月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,730 円(本体 2,600 円 + 税 5%)

(2009年、年ぎめ予約購読料 31,800 円
MedicalFinder パーソナルオプション付 41,400 円
(税込み、配送料弊社負担))

E-mail: kotojun@igaku-shoin.co.jp

Web http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kotojun

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5703

(担当: 樋川・菊池・今田)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷株式会社 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株) 医薬広告社 電話 (03) 3814-1971

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2009, Printed in Japan.

• 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

ICLS (株) 日本著作出版権管理システム委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。